平成 2 5 年第 2 回上里町議会定例会会議録第 3 号

平成 2 5 年 3 月 7 日（木曜日）

本日の会議に付した事件

- 日程第 3 7 (町長提出議案第 34 号)平成 2 4 年度上里町一般会計補正予算(第 5 号)について
- 日程第 3 8 (町長提出議案第 35 号)平成 2 4 年度上里町国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)について
- 日程第 3 9 (町長提出議案第 36 号)平成 2 4 年度上里町介護保険特別会計補正予算(第 3 号)について
- 日程第 4 0 (町長提出議案第 37 号)平成 2 4 年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)について
- 日程第 4 1 (町長提出議案第 38 号)平成 2 4 年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算(第 2 号)について
- 日程第 4 2 (町長提出議案第 39 号)平成 2 4 年度上里町公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)について
- 日程第 4 3 (町長提出議案第 40 号)平成 2 5 年度上里町一般会計予算について
- 日程第 4 4 (町長提出議案第 41 号)平成 2 5 年度上里町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第 4 5 (町長提出議案第 42 号)平成 2 5 年度上里町介護保険特別会計予算について
- 日程第 4 6 (町長提出議案第 43 号)平成 2 5 年度上里町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第 4 7 (町長提出議案第 44 号)平成 2 5 年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計予算について
- 日程第 4 8 (町長提出議案第 45 号)平成 2 5 年度上里町公共下水道事業特別会計予算について
- 日程第 4 9 (町長提出議案第 46 号)平成 2 5 年度上里町農業集落排水事業特別会計予算について
- 日程第 5 0 (町長提出議案第 47 号)平成 2 5 年度上里町水道事業会計予算について

出席議員（13人）

1番	植原育雄君	2番	山下博一君
3番	植井敏夫君	4番	高橋正行君
5番	納谷克俊君	6番	中島美晴君
7番	荒井肇君	8番	新井實君
9番	小暮敏美君	10番	沓澤幸子君
11番	高橋仁君	12番	伊藤裕君
13番	根岸晃君		

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町長	関根孝道君	副町長	高野正道君
教育長	下山彰夫君	総務課長	戸矢隆光君
総合政策課長	石原秀一君	税務課長	中島勇君
町民環境課長	須田孝史君	福祉こども課長	飯島雅利君
健康保険課長	関口静君	まち整備課長	坂本浩之君
産業振興課長	野田浩一郎君	下水道課長	間々田義彦君
人権共生課長	河野光彦君	学校教育課長	木村隆之君
生涯学習課長	坂本正喜君	中央公民館長	山口正彦君
水道課長	間々田勤君	学校指導室長	福島慶治君
図書館長	外尾常人君	郷土資料館長	外尾常人君
老人福祉センター所長	関根健次君	会計管理者	橋爪和友君

事務局職員出席者

事務局長	横尾邦雄	主査	戸矢信男
------	------	----	------

開 議

午前9時0分開議

議長（高橋正行君） ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから散会前に引き続き、本日の会議を開きます。

日程第37 町長提出議案第34号 平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）について

議長（高橋正行君） 日程第37、町長提出議案第34号 平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案申し上げました議案第34号 平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）について御説明いたします。

平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）、第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,109万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ91億4,273万7,000円とし、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

第2条、地方債の廃止及び変更は「第2表 地方債補正」によるものでございます。

第3条ですが、地方自治法第213条第1項の規定により繰り越して使用することのできる経費は、「第3表 繰越明許費」によるものでございます。

第1表、歳入歳出予算補正を御説明いたします。

2ページ、3ページをご覧ください。

歳入の主な補正でございますが、地方交付税につきましては、普通交付税の交付額の確定により1億6,428万8,000円を増額補正し、国庫支出金については社会資本整備総合交付金の減額や小・中学校の改修事業に伴う学校施設環境改善交付金の増額などにより、358万円を減額補正いたします。繰越金は前年度繰越金を2億4,248万2,000円増額補正し、町債については本年度の事業見込みなどにより、道路関係の土木債や小・中学校の改修・改築に係わる教育債の減額などにより6,080万円を減額補正いたします。

歳出の主な補正は、歳入同様執行状況による事業費の増減補正のほか、各種基金への積み立てなどでございます。

まず、款1 議会費では、議員共済給付費負担金の負担金率改定に伴い168万3,000円の減額補

正になります。

款2 総務費では、財政調整基金と減債基金へ2億9,950万円、公共施設等用地取得及び施設整備基金へ8,523万円の積み立てを計上いたします。また土地開発基金からの買い戻しといたしまして6,229万円の計上などにより、4億3,139万1,000円の増額補正となります。

款3 民生費では、知的障害者施設入所支援サービス費や民間保育所等委託料が主な増額となっており、国民健康保険特別会計繰出金、後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金及び子どものための手当費が主な減額などにより、1億8万4,000円の減額補正となります。

款4 衛生費では、非常照明設備の修繕による増額や合併処理浄化槽設置整備事業補助金の減額などにより、161万5,000円を増額補正いたします。

款5 農林水産費では、中核的担い手農家育成奨励金交付事業補助金の増額や給付費、埼玉県主穀作産地営農強化支援事業補助金の減額などにより、466万7,000円を減額補正いたします。

款6 商工費では、観光案内板設置工事、消費生活対策事業の減額により、59万6,000円を減額補正いたします。

款7 土木費では、上里サービスエリア周辺地区道路整備事業の土地購入費、神保原駅南土地地区画整理事業特別会計繰出金を増額し、上里サービスエリア周辺地区道路整備事業の工事費、公共下水道事業特別会計繰出金の減額などにより、2,186万1,000円を増額補正いたします

款8 消防費では、消防団員退職報奨金の減額により175万6,000円を減額補正いたします。

款9 教育費では、補助教員賃金、私立幼稚園奨励費補助金の減額などにより、501万6,000円を減額補正いたします。

4ページをお願いいたします。

款10 公債費では、地方債の借入れ条件等により利子について、97万4,000円を減額補正いたします。

5ページをお願いいたします。

第2表地方債補正につきましては、起債対象事業費の増減に伴い補正するものでございます。初めに、道路新設改良事業につきましては、本年度の借入れを実施しないため廃止といたしまして、上里サービスエリア周辺地区道路整備事業、古新田四ッ谷線整備事業、小学校体育館改修事業、上里中学校改築事業の限度額をそれぞれ減額するものでございます。

6ページをお願いいたします。

第3表繰越明許費でございます。上里サービスエリア周辺地区道路整備事業1,600万円、小学校改修事業2億1,622万6,000円をそれぞれ平成25年度に繰り越しを行うものでございます。

以上が一般会計補正予算の提案説明でございます。慎重御審議いただき、御議決賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細の内容説明につきましては、担当課長より説明いたさせますので、よろしくお願いいたします。

議長（高橋正行君） 次に、担当課長より詳細説明を求めます。

〔以下、上程中の議案について 総合政策課長 石原秀一君補足説明〕

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

10番、沓澤幸子議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子） 10番の沓澤です。この長いほうの説明資料で質問させていただきます。まず、2ページなんですけれども、土地購入費ということで御説明があったんですけれども、ちょっと私、聞き洩らした感じがありますので、どこの土地を購入したのか、もう一度説明していただきたいというふうに思います。

それと、昨日の条例で、改正されたところの積立金でありますけれども、早速積み立てが行われているわけなんですけれども、この積み立てにつきましても大まかな、やはり施設の数だとか、計画的なものを示していただきたいなというふうに思うんですけれども、そうした考えがあるのかどうか、お尋ねいたします。

あと、地方交付税の普通交付税の確定に伴ってということでもありますけれども、確定の見込みはどのくらいでできるのか、そして確定が遅れることによって年度内に、やはり要望にも応え切れないで、結果、財政調整基金に積んでいくというそういうことにもなりかねませんので、その点についてお尋ねしたいというふうに思います。

あと、福祉子ども課に係わる3ページなんですけれども、子どものための手当費につきましては、支給人員の確定によって、国庫も県費も確定に伴って減額というふうになっているので、それはよくわかったのですけれども、法人立分の保護者の保育料ですね、分担金及び負担金なので、これは減額になっていますけれども、先ほど子ども達の人員は増加しているというような、国庫と県費を見ても、支出金は増えているので、子ども達は増えているのに負担金が減額というところでは、どういうことなのかなというふうに思いますので、ちょっとお尋ねしたいというふうに思います。

あと、特別保育事業費補助金ですけれども、これは2分の1県費補助なのかというふうに思いますけれども、内容的にはどういう内容なのかお尋ねいたします。

あと、4ページの老人福祉事業なんですけれども、委託料の配食サービスなんですけれども、

当初予算でも前年度よりも減額して予算を組んだような記憶があるのです。それでなおかつ、ここに来て、実績見込みで減額ということは、配食サービスの利用者減なんですけれども、なぜこういうふうな高齢者、お一人暮らしの方とかが増えている中で、希望者が減っていくという現状が、ちょっと負担が重いのかなとか、さまざまな理由があると思いますので、この辺についてちょっと御説明願えればなというふうに思います。

以上です。

議長（高橋正行君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） それでは2ページの公共施設費、用地取得及び施設整備基金の積立金ということで、今回8,523万円を積み立てさせていただきました。これについては昨日の条例改正を受けて行うものでございます。基本的には町施設の維持補修に要する費用として後年度の財政の負担の軽減を図るためということで、積み立てをお願いするものでございます。具体的にこの基金の積み立ての計画、そういうものを示してほしいという御質問でございますけれども、公共施設の見直しにつきましては、現在場内のプロジェクトチームと、そして民間との懇話会を設けまして、その中で議論をしているところでございますけれども、時間をいただければ、全協等で公共施設のあり方についての資料もございますので、御説明をさせていただきたいと思います。

議長（高橋正行君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 石原秀一君発言〕

総合政策課長（石原秀一君） それでは御質問がございましたので、私のほうでは土地開発基金の関係と普通交付税の関係について、御説明を申し上げさせていただきたいと思います。

先ほど、公有財産の購入の買い戻しということでございますけれども、現在平成23年の上里町の土地開発基金ということでございまして、こちらの運用状況につきましては、現金と土地と貸付金、この3つで持っているところでございます。このうち、今回土地として持っておりますものから一般会計に買い戻しをするということで、この買い戻し用地につきましては、庁舎建設用地の1,777平米のうち、今回買い戻す面積は693平米でございます。金額にして5,252万9,400円を買い戻しを行うものでございまして、今回の買い戻しによりまして、庁舎建設用地については、すべて一般会計での買い戻しが終了するものでございます。

もう一つ、みちくさの道整備用地でございますけれども、323平米、976万円を買い戻すものでございます。この結果、土地開発基金によりまして残っている、まだ土地があるわけでございますけれども、長幡の児童公園、それから賀美児童公園等が用地としては、まだ開発基金が所有するということになるものでございます。

続きまして、普通交付税の決定時期ということでございます。普通交付税につきましては、7月に算定事務が行われまして、8月に交付決定が行われているところでございますので、この普通交付税につきましては、交付決定額は8月のときに交付決定を受けているということでございます。最終的に3月補正とさせていただいておるところでございますけれども、今回9月、12月、それぞれ補正予算を作成させていただいておるわけでございますけれども、この間の歳出の額に相当するものについては繰越金とか、県支出金等で、対応が可能だったために普通交付税の財源を充当しなくても、それぞれ今までの補正予算については繰り越し等で対応できたということで、3月までこの補正予算が留保されてきたと、財源が留保されてきたということでございます。

議長（高橋正行君） 福祉こども課長。

〔福祉こども課長 飯島雅利君発言〕

福祉こども課長（飯島雅利君） それでは御説明申し上げます。

保育所運営費、保護者負担金、公立分と法人立分の関係でございます。

保育所の保護者負担金でございますが、保育費につきましては所得階層により最終的に確定することになっております。当初予算では前年実績をもとに策定いたしました。今回確定に伴いまして補正予算を提出させていただきました。

公立保育園につきましては、当初予算が3,073万5,179円で、見込み額2,938万4,041円、135万1,000円の増額補正をさせていただくものです。法人立保育園につきましては、当初予算が1億3,291万1,000円で、見込み額1億3,138万4,584円、したがって152万7,000円の減額補正をお願いするものです。なお園児につきましては、平成24年3月に782人で、平成25年3月には782人ですので、増減のほうはないようです。

続きまして、法人立保育園運営費助成事業について御説明申し上げます。

こちらにつきましては、実績見込みによる補正予算の内容となっております。内訳といたしまして、低年齢児保育促進事業、1歳児担当保育士雇用費補助金の関係でございますが、370万円です。利用者が185人増えたことによるものです。同じく乳児途中入所促進事業につきましては96万2,000円、これにつきましても利用者が19名ほど増えたことによるものです。あわせて障害児保育事業で64万円です。途中入所児童が2名あったことによります。

それから、高齢者等配食サービス事業委託の関係でございますけれども、先ほど議員さんの御質問のとおり、理由としては利用者数の減少によるものです。理由といたしましては、介護保険の利用によりデイサービス等へ行く利用者が少なくなっている、それから配食を断ってくる、1食250円で提供しておりますけれども、この辺は理由としては何と申し上げていいかわかりませんが、250円で、現在利用されている方が27名ほどいらっしゃるということです。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

2番、山下議員。

〔2番 山下博一君発言〕

2番（山下博一君） 2番、山下です。2点ほど質問させていただきます。

この表の1ページ、一般管理給与費の時間外勤務手当、これは200万円増額補正されています。先ほどの付属資料によりますと、年間、今回の200万含めて、1,635万円ということで時間外勤務手当がされているんですが、昨年、埼玉県職員が時間外勤務手当で、年収に相当する分ぐらいの時間外勤務をしていたという話がありました。それから、ある自治体でも過労死で訴えられている自治体も見受けられます。多分この200万円の時間外勤務手当というのは、ある特定の職員に偏って、年末、システムの入替えとか、そういうことも埼玉県ではあったようですが、こういったことで時間外が職員に偏らない、問題にならないような勤務の状況をチェックされているのかどうか、教えていただきたいと思います。それが1点。

それから2点目が、2ページ、町民環境課の交通安全対策事業で、減額ということで、41万6,000円ということで、これは指導員の欠員ということで説明がございました。先般、町長からも話がありましたように、上里町の交通事故については大変厳しい状況だという御説明がありました。実際は、地元でも交通指導員が病気になって、欠員補充がされていないという状況もあるように見受けられますが、この欠員はどういった形で補充される予定なのか、わかりましたら教えていただきたいと思います。

以上です。

議長（高橋正行君） 総務課長。

〔総務課長 戸矢隆光君発言〕

総務課長（戸矢隆光君） 御説明申し上げます。

時間外でございますけれども、少数でやる場合と複数でやる場合、いろいろあるわけでございますけれども、時間外勤務につきましては、事前に課長の承諾を得まして、それで執務を行うということでありまして、体調面等につきましては、事前に課長に今日は残業をやりたいんだと、こういうことでやりたいんだというときに、コミュニケーション等で把握をしているものと考えます。

議長（高橋正行君） 町民環境課長。

〔町民環境課長 須田孝史君発言〕

町民環境課長（須田孝史君） 交通安全対策事業の交通指導員の関係でございますけれども、現在、昨年の4月から1名、神保原地区を担当している指導員さんが退職なさいました。その

分の減額でございまして、補充につきましては設置規則に、指導員になり手の年齢制限がございまして、60歳までの基準がございまして、その見直しを含めて、確保をする予定で現在取り組んでおります。

以上です。

議長（高橋正行君） 先ほどの説明について、追加説明があります。

福祉こども課長。

〔福祉こども課長 飯島雅利君発言〕

福祉こども課長（飯島雅利君） 先ほどの説明で、高齢者等配食サービスの御説明を申し上げたのですが、追加して少し説明をさせていただきます。

やはり減った理由といたしましては介護サービスの利用、それから社協のハッピーランチですとか、民間のサービスがかなり安く提供することによるものと考えられます。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 先ほどの続きで、まだ何点かお尋ねしたいところがあったんですけども、財政調整基金と地方交付税との関係、また繰越金との関係でありますけれども、前年度繰越金というのはもう遥かかなたに確定していることでありまして、それを順次必要に応じて出してきた、予算を執行していくという、いわゆる繰越金が相当額残っていたので、地方交付税は確定していたけれども、出さなくても運営してこられましたよという説明だというふうに思います。それで、ここに来て地方交付税を出してくるわけなんですけれども、それとあわせて繰越金も相当額残っている、それを出すわけですね。それでということは、財政的にはまだ今年度十分使える財政があったということになると思うんです。

しかしながら、一般質問等で本当に給食費、子どもたち2人出していると、月1万円近いんですよというふうに、本当に多くのお母さんたちに言われるんですよ。いろいろなところでお金かかって、何とかならないかしらねと、子ども手当をもらうよりも、そういうのを無料にしてもらうほうがよっぽど助かると、そういうふうに言っておられます。保育料も寄居はいいよねと、3番目はもう無料なんだってよ。そういうふうに言われます。

そういうことに関しては、お金がないからと、財政的見通しが立たないというふうに、町長は答弁されるわけなんですけれども、こういうふうにぼーんと出てきて、はい基金に積みます。これ納得できないんですよ。この辺のことについて再度お尋ねしたいというふうに思います。

それと、このことは次の介護保険のほうで……、これはいいんですね。ごめんなさい。介護

保険のほうで聞けばいいのかな。

お願いします。

議長（高橋正行君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 財政調整基金と地方交付税と、そして繰越金の関連で御質問がございまして、これは、1つは町の財政運営の考え方ということになると思いますけれども、この中でいきますと、繰越金につきましては前年度の繰越金でございますので、それについての確定が決算ということですから、5月以降になるわけでございます。そして、地方交付税については先ほど御説明がありましたように、8月に交付決定をされるということでございます。財政調整基金については、事業の必要性に応じまして、基金に調整をするということでございます。

そういうことで、財政運営の中で、ここ数年、こういう形でやらせていただいておりますけれども、3月の補正の中ですべて基金に積み立てて、それで非常に財政が厳しいというのはおかしいのではないかと、そういう御質問だと思いますけれども、1つ例で申し上げますと、財調についても、本年度積み立てをいたしまして、24年度では12億近くになるわけでございますけれども、またこの後、25年度の予算の中で御説明をさせていただきますけれども、25年度については、神流川沿岸の償還金ですか、その関係について、約5億円程度支払いを4月にするというわけでございますし、また、25年度の当初予算の編成の中でも、財調からも取り崩しをしているというようなそんな状況でございますので、基本的には財源が余っているということはありません。

また、一つは、やはり町としては基金をそれぞれの目的に合わせて、将来的な財政の平準化を含めて、必要な部分についてはやっていく必要があると思います。そういう面で、すべて対応できてきたから3月ですべてやると、それで事業については大変厳しいのでできないということではございませんので、財政の中での資金の活用方法として、このような形をとらせていただいているということでございますし、また将来的な見込みと、そして個々の事業についても、町民の方に安心・安全な事業を進めていただくという観点から、こんな形で毎年行っているところでございます。

1つ言わせていただければ、町としても3月の中で最終的にすべて行うということは、ある面では、少しは財源的には、将来的な部分も含めて、余裕はあるという部分もあると思います。交付税が、例えば最悪のケースでいきますと、交付税の見込みを、若干上乘せをして見込むというようなことはないわけでございます。そういう面でいけば、少しは余裕があるわけでございますけれども、そういった部分については将来的に、これから行っている学校の関係ですと

か、そういったものにも充当しているということでございますので、そんな形で財政運営をしているということではございませんわけでございますので、必ずしも財政状況が厳しいと言っていて、最終的にすべて基金に積み込むと、そういうことではございませんので、ぜひ御理解をお願いしたいと思います。すべて基金に積み立てたものについても、町民の方のための事業ということで、充当するためのものがございますので、その辺については御理解をしていただきたいと思います。

基金が、金額が大きいというお話もございますけれども、これを町の、3万人規模の状況の中で、この基金が必ずしも適切ではないというような御意見でございますけれども、そういうことはないと思います。これからいろいろな事業とあわせて、最終的に基金がなくなったり、町として今年度は医療費が払いませんとそんなことにはならないわけでございますので、その辺も含めて調整していきたいと思いますので、よろしくをお願いをしたいと思います。そこについては、ぜひ御理解をしていただければありがたいと思います。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

1番、植原議員。

〔1番 植原育雄君発言〕

1番（植原育雄君） 1番、植原です。何点か質問をさせていただきたいと思います。

まず2番目の、先ほど山下議員が質問したところでありますけれども、交通安全対策事業の交通指導員報酬9人分、説明では欠員によるというような説明が、9人分で40万8,000円の減という、そういう内容でありましたけれども、4月より1名減という、先ほどの山下議員の質問に答えての説明がありました。交通事故が上里町、非常に多いわけですので、上里町の交通指導員の人数が適正かどうかという問題もあると思いますけれども、せめて欠員の分につきまして、4月1日から欠員の補充はどうなっているのでしょうかというそういう質問をさせていただきたいと思います。

それから、あと7ページの合併浄化槽の関係なんですけれども、下水道課のところの入が県の支出金で18万円の交付金が減ということになっております。それで出のほうで合併処理浄化槽設置整備事業費補助金30万の減ということになっておりますけれども、これは何人分を当初予算化して、確定人数は何人になって、それで30万円の減額の分は何人分に相当するのか、そこら辺を説明いただきたいと思います。

それから3つ目ですけれども、8ページの生涯学習課のところの、集会所の三角看板撤去工事ということで、7万6,000円の工事請負費が組まれておりますけれども、どのような内容の看板なのか御説明をいただきたいと思います。

以上です。

議長（高橋正行君） 町民環境課長。

〔町民環境課長 須田孝史君発言〕

町民環境課長（須田孝史君） 植原議員の質問に対して説明させていただきたいと思います。交通指導員報酬9人分とありますけれども、これにつきましては9人分の報酬の中の欠員1名分の減額でございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、4月から、欠員になっている分についてどうするかということでございますけれども、現在補充すべき人を検討しているところでございまして、4月からは9人態勢で臨むようにしたいというふうにおぼえております。

以上でございます。

議長（高橋正行君） 下水道課長。

〔下水道課長 間々田義彦君発言〕

下水道課長（間々田義彦君） 先ほどの質問にお答えさせていただきます。

平成24年度につきましては全10件、当初予算もそうですけれども、10件の交付を行っております。内容につきましては、単独浄化槽から合併処理浄化槽に9件、それから汲み取り浄化槽から合併に1件、当初予算の中では10件と見ております。内容につきましては、処分費、合併浄化槽を撤去すると補助金が国・県、出るのがあるんですけども、こちらにつきましては、先ほど言った汲み取り槽が1人ですから、国の補助金は出ません。それから県の補助金は9件のうち6件が該当になります。3件は浄化槽を撤去しないで、そのまま埋めました。

それから、配管に関わる補助金につきましては、国のほうはございません。県のほうにつきましては10件、合計で、当初予算ですと全体で490万を見ておりましたけれども、先ほど言った単独浄化槽でない人は処分費が出なかったり、単独浄化槽でも処分しなかった方は補助金が出ませんので、こちらにつきましては、最終的な支出については460万、合計で30万円の減額でございます。

以上です。

議長（高橋正行君） 生涯学習課長。

〔生涯学習課長 坂本正喜君発言〕

生涯学習課長（坂本正喜君） 看板の名称は「人権擁護宣言の町」ということで、3角になっている部分が2面ありまして、あとは標語が若干書いてあるものでございます。これは多分平成6年度に宣言をされた内容に基づいて、町が設置したものだと思います。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 提案されました議案第34号 平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）について、反対でありますので討論をしたいと思います。

先ほど来の質疑の中で、財政調整基金への積み立て、これは今後の財政の平準化を考えて、積み立てていくことも必要であるという説明もされました。また、3万人人口において、今現在町が積み立てている基金の額が、一般的に見てそれほど多いというふうには考えていないというそういう答弁もありました。

しかしながら、今経済情勢が厳しい中で、国民は本当に日々、切り詰めて切り詰めて生活をしております。特に子育て中の方々は、本当にどこを削ろうかというような暮らしを強いられています。また高齢者の方々も医療費が値上げし、介護保険料が値上げし、本当に年金が下がるそういう中で、苦勞に苦勞をして、買い物をしながら、メモを取りながら、計算しながら買い物をすると、そういう方々も見受けられます。そういう中において、町長は議会の中でよく財政が厳しい、恒常的な経常を考えると、思い切ったことができない。やってあげたいという気持ちもあるけど、財政が厳しくてできないんだという答弁を繰り返し行ってきました。

しかしながら、こういうふうな形で、年度末になるとお金を積んでいく、私たちも、一般の家庭でも、お金が積めない、貯金が全くゼロということは本当に苦しいことでもありますので、計画的に貯金をして、生活をしていくというのが普通だと思います。しかしながら国民は、町民は預金ゼロ、本当にやっと給料が入って、集金が来てもちょっと待って下さいとお願いをして、日にちを指定して来てもらっているんですよと、そういう話も聞くわけなんです。そういう苦しい町民の生活を思ったときに、余力があって、町民の要望にも応えて、なおかつ町民の暮らしを守っていくために、一定の基金を積んでいくということであれば納得できますけれども、苦しい町民生活に対しての予算を、難しいというふうに退けながら基金を積んでいくことに対して、賛成できないなというふうに考えますので、反対とさせていただきます。

議長（高橋正行君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより、議案第34号 平成24年度上里町一般会計補正予算（第5号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立多数であります。
よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前10時16分休憩

午前10時30分再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第38 町長提出議案第35号 平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算
（第3号）について

議長（高橋正行君） 日程第38、町長提出議案第35号 平成24年度上里町国民健康保険特別
会計補正予算（第3号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 議案第35号 平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第
3号）。

御提案申し上げました議案第35号 平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3
号）について御説明いたします。

平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによるも
のでございます。

第1条歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,867万7,000
円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ33億5,673万9,000円とするものでござい
ます。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金
額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

補正予算書の2ページをご覧ください。

第1表歳入歳出予算の補正であります。

歳入についてでございます。

款3国庫支出金、項1国庫負担金につきましては、今年度の療養給付費負担金や高額医療費
共同事業負担金及び特定健康診査等負担金が確定したため、4,731万3,000円を減額補正するも

のでございます。

項2 国庫補助金につきましては、70歳以上74歳までの前期高齢者の方の医療費の負担割合が平成20年度から平成24年度まで1割に凍結されていましたが、平成25年度も引き続き1割に凍結されることとなったため、高齢受給者証を再交付するための補助金であります。金額については38万6,000円の予算計上でございます。

続きまして、款6 県支出金、項1 県負担金につきましては、高額医療費共同事業負担金や特定健康診査等負担金が確定したため、356万円を減額補正するものでございます。

続きまして、款9 繰入金、項1 他会計繰入金につきましては、一般会計からの繰入金でございます。保険基盤安定負担金分397万4,000円の増額補正や職員給与費等の減額による140万2,000円の減額補正、その他分の繰入金を歳入・歳出の補正額の調整により1億1,186万円減額し、合計で1億928万8,000円を減額補正するものでございます。

続きまして、款11 諸収入、項3 雑入であります。特定健康診査の一部負担金額が1,626人分、162万6,000円に確定したため、27万4,000円の減額補正であります。

歳入合計につきましては、2,867万7,000円を減額し、予算総額を33億5,673万9,000円とするものでございます。

続きまして、歳出であります。

款1 総務費、項1 総務管理費につきましては、職員給与費の減額補正で146万円、国保総合システム電算処理手数料で8万8,000円の補正で、合計で137万2,000円の減額補正でございます。

項2 徴税費につきましては、国保税のコンビニ収納の手数料が不足するため、5万8,000円を補正するものでございます。

続きまして、款2 保険給付費につきましては、歳入の国・県支出金等の補正に伴う財源補正でございます。

また、款3 後期高齢者支援金等、款6 介護納付金につきましても同様に、歳入の国・県支出金等の補正に伴う財源補正でございます。

続きまして、款7 共同事業拠出金につきましては、高額医療費共同事業医療費拠出金額が6,454万6,551円に確定したため、1,423万8,000円の減額補正と保険財政共同安定化事業拠出金額が2億9,115万9,240円に確定したため、1,650万8,000円の減額補正となり、合計で3,074万6,000円の減額補正となります。

続きまして、款8 保健事業費 項1 特定健康診査等事業費につきましては、特定健康診査の委託料が1,619万5,845円に確定したため、269万8,000円の減額補正であります。

歳出合計につきましても、歳入同様、2,867万7,000円を減額し、予算総額を33億5,673万

9,000円とするものでございます。

以上で平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の提案説明とさせていただきます。慎重審議いただきまして、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

2番、山下議員。

〔2番 山下博一君発言〕

2番（山下博一君） 2番、山下です。

9ページの表でちょっと見させていただいて、特定健康診査等事業費で269万8,000円の減額がされていまして。昨年、私が議会で一般質問したときに、特定検診事業の受診率が非常に上がったということでした。多分前年度比で上ったのかなと思います。多分この受診率の向上を見越して予算を計上したんだけど、結果的にはこの269万8,000円という形になったかと思いますが、現状どのくらいの受診率で、予定よりも、今年度結果的にどうであったのか、ちょっと数字がわかりましたら教えていただきたいと思います。

議長（高橋正行君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 関口 静君発言〕

健康保険課長（関口 静君） 説明させていただきます。

当初予算では30%程度ということで、予算1,900人ほどの健診の受診者数を見込んでおりました。確定した方が1,626人という形で、健診のほうを終了しました。そのほか受診率に関係については、町の国保のほうで、人間ドックの補助金等を出してございますので、現在、2月末の受診率については、対象者数5,601人に対して1,769人の受診者数ということで、31.6%の受診率になっております。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 国庫支出金や県支出金等全体を見ましたところ、やはり予定していたよりも療養費が掛からなかったということで考えていいのでしょうか。そのために一般会計からの繰入金も、減額というそういうことでいいのでしょうか。

議長（高橋正行君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 関口 静君発言〕

健康保険課長（関口 静君） 説明いたします。

国庫負担金等の減額につきましては、今年度の、昨年11月までの医療費の執行状況から算出しまして、国庫負担金のほうが決定します。国庫負担金につきましては、2月までの給付実績に応じて精算で、次年度精算で交付、あるいは返還という形が決まるわけですが、この国庫負担金につきましては、確定した医療費の給付状況も議会に、前期高齢者交付金等の金額等が算定の中に入ってきますので、その関係で減額という形になってきております。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 医療費の場合は3ヶ月でしたっけ、決定が遅れていくというそういうシステムなので、予想を立てておいて、後から訂正というか、確定した時点でまた戻ったり、入れたりという、そういうやり方でやっていると思うんですけども、前期高齢者、後期高齢者を含めて、介護保険のほうの負担金も含めて、やはり給付費が見込みよりも減るというふうに読んでいるということでしょうか。

議長（高橋正行君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 関口 静君発言〕

健康保険課長（関口 静君） 説明いたします。

当初の算定の中で、例えば前期高齢者交付金等の関係で、退職医療に掛かる調整対象基準額というのがございます。その関係が、確定するのが今年の1月ごろ確定します。その関係で、その分が給付費から除かれますので、その関係で減額と、給付自体は23年度の決算額から見ますと、2億円程度伸びるような給付額になっているんですけども、実際には調整対象基準額を国庫支出金等の中で見込めないために、今回それを見込んで、確定した数字で算出したために、減額という形になってございます。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより、議案第35号 平成24年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第39 町長提出議案第36号 平成24年度上里町介護保険特別会計補正予算
(第3号)について

議長（高橋正行君） 日程第39、町長提出議案第36号 平成24年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案申し上げた議案第36号 平成24年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

平成24年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによります。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,204万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億9,844万2,000円とし、歳入歳出予算の補正の金額、款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

次に、2ページですが、第1表 歳入歳出予算補正でございます。

初めに歳入ですが、款1介護保険料、項1介護保険料については、調定額の増により616万4,000円の補正増をするものでございます。

款2国庫支出金、項1国庫負担金につきましては、国庫負担金の実績見込額により127万4,000円を増額するものでございます。

項2国庫補助金につきましては、普通調整交付金の実績見込額により1,736万の減額となります。

款3支払基金交付金、項1支払基金交付金につきましては、交付金の実績見込み額により851万6,000円を増額となります。

款4県支出金、項1県負担金につきましては、実績見込み額により1,141万8,000円を増額となります。

款5繰入金、項1一般会計繰入金につきましては、保険給付費の町負担分（12.5%）と事務費などで203万4,000円を増額であります。

歳入の合計につきましては、現予算に対して1,204万6,000円を追加し、予算総額を14億9,844万2,000円とするものでございます。

続きまして、歳出であります。

款1 総務費、項1 総務管理費につきましては、給料・職員手当等・共済費の減額と、システム改修業務委託料の増額で315万5,000円の減額補正でございます。

項3 介護認定審査調査費は、共済費で1万8,000円でございます。

款2 保険給付費につきましては、項1 介護サービス等諸費2,772万6,000円の増額、項2 介護予防サービス等諸費795万6,000円の増額、項3 高額サービス費90万9,000円の増額、項6 特定入所者介護サービス等費244万3,000円の増額で、合せて3,903万4,000円の増額となります。

款3 基金積立金につきましては、給付費増額に伴い、介護給付費準備基金積立金を2,414万2,000円減額計上するものでございます。

款4 地域支援事業費、項2 包括的支援事業、任意事業費につきましては、職員手当等、共済費による29万1,000円の増額をするものでございます。

歳出の合計につきましても、歳入同様、現予算に対して1,204万6,000円を追加し、予算総額を14億9,844万2,000円とするものでございます。

以上が介護保険特別会計補正予算の提案説明でございます。慎重審議いただきまして、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 今回の補正予算は給付でいきますと施設介護サービス給付事業のみが減額で、あとのサービスはすべて増額ということで、サービス提供が大変進んでいるということだと思います。それに伴って介護給付準備基金ですか、給付費準備基金積立金が減額されるというそういう内容だというふうに思います。

5期目がスタートした1年目の介護保険の事業ですので、3年間の中でこれをうまく回していかなければいけないということになりますと、やはり基金は必要になってくるわけなんですよ。その中で、当初予定をしていた基金のほぼ全額が積めないということになりますと、今後2年間の介護保険の運営が非常に厳しいなというふうに見るわけなんですけれども、このことによって基金の総額というのはどのように見込まれるんでしょうか、お尋ねいたします。

議長（高橋正行君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 関口 静君発言〕

健康保険課長（関口 静君） 説明いたします。

平成24年度の基金残高につきましては、現在、昨年からの繰り越しで606万729円がございます。これについては、補正予算で計上させていただいたんですけれども、平成23年度分の精算等の関係で取り崩しを行います。今回基金の積み立てを減額しまして、最終的には12万6,000円が準備基金の残高となります。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

10番、沓澤議員。

〔10番 沓澤幸子君発言〕

10番（沓澤幸子君） 私も調べたんですけれども、確かに606万ちょっとしかないんですね。そうしますと、次年度の予算を組んでいくに当たって、非常に厳しいんじゃないかというふうに思いますけれども、予算のほうでまた審議するんでしょうけれども、サービスは認定された人でサービスを提供していくわけですので、介護保険の制度そのものから来る矛盾もあるんですけれども、不足した場合に、一般会計から取り入れていくという考えがあるのかどうか、答弁をお願いいたします。

議長（高橋正行君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 介護保険の積立金については、今回の補正で12万6,000円ということで、非常に少なくなっているわけでございます。来年度、25年度についても、基金を700万程度計上しておりますけれども、これで給付費等が伸びた場合には、そこで積立金を減額するという、25年度の予算をお願いしているところでございますけれども、実際に給付費が不足する場合には、考え方といたしましては、県の基金から借入れをしていきたいというふうに考えているところでございます。

不足した場合には一般会計から繰り入れすべきだという御意見でございますけれども、基本的には介護保険制度については40歳以上の方が負担する保険料と公費で賄う相互補助の制度で行っているわけでございます。

確かに保険制度が定着をいたしまして、給付事業についても毎年伸びているわけでございます。実際に、第4次の関係で、24年から26年度までの推計の中では、ほぼ同じような状況で推移するというので、計画どおりいくのかなとは思っておりますけれども、現状はこれから見てもあと2カ年、給付費が伸びる可能性はあるわけでございます。

そういうことで、先ほど申し上げましたように、40歳から65歳未満の方も給付費の29%を保

険料として御負担をしていただいているわけですので、不足する額を一般会計から、一般財源から繰り入れするという事は、法の定めた負担割合を超えて町が負担するという事とございますので、そういう意味で負担を若い世代の負担に転嫁することにもなりますので、基本的にはこの介護保険制度の考え方の中で進めるということとございます。また、もし給付費等が伸びた場合については、県の基金から借り入れをするということを検討せざるを得ないというのが町の考え方とございます。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第36号 平成24年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）についての件
を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第40 町長提出議案第37号 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算
（第1号）について

議長（高橋正行君） 日程第40、町長提出議案第37号 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 議案第37号 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）。

御提案申しあげました議案第37号 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について御説明申し上げます。

平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによるものです。

第1条歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,066万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,597万9,000円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

補正予算書の2ページをご覧ください。

第1表 歳入歳出予算補正でございます。

歳入についてでございます。

款1 後期高齢者医療保険料であります。平成24年度の調定額が当初より720万円ほど少ない1億3,410万円と見込まれますので、歳入予算額を748万4,000円減額し、1億3,431万3,000円とするものでございます。

当初予算編成時に、埼玉県後期高齢者医療広域連合で試算をいたしました保険料調定見込額より実質の保険料賦課額が少なかったための減額補正でございます。

款3 繰入金、項1 一般会計繰入金につきましては、保険料の軽減分であります保険基盤安定負担金の繰入金が4,468万4,085円に確定したため、153万7,000円の減額補正をするものでございます。

続きまして、款4 繰越金につきましては、前年度の繰越金が13万7,188円に確定したため、36万3,000円の減額補正をするものでございます。

款5 諸収入、項3 受託事業収入につきましては、埼玉県後期高齢者医療広域連合から健康診査の受託事業収入が273万2,610円に確定したため、68万4,000円の減額補正でございます。

項4 雑入につきましては、後期高齢者の方の健康診査の一部負担金が395人分、39万5,000円に確定したため、10万5,000円を減額し、人間ドックの補助金としまして4名分増加したため、9万円を補正し、合計で1万5,000円の減額補正でございます。

歳入合計につきましては、1,066万9,000円を減額し、予算総額を1億9,597万9,000円とするものでございます。

続きまして、歳出であります。

款1 総務費、項1 総務管理費につきましては、健康診査の委託料が395人分、393万2,710円に確定したため、103万9,000円を減額し、その他に人間ドック補助金として5万円を補正し、合計で98万9,000円を減額補正するものでございます。

続きまして、款2 後期高齢者医療広域連合納付金につきましては、保険基盤安定分の納付額が4,468万4,085円に、また事務費等の共通経費負担金が837万4,950円に確定したため、968万円の減額をし、納付金総額を1億8,737万3,000円とするものでございます。

歳出合計につきましても、歳入同様1,066万9,000円減額し、予算総額を1億9,597万9,000円とするものでございます。

以上で平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の提案説明とさせていただきます。慎重審議いただきまして、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第37号 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第41 町長提出議案第38号 平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について

議長（高橋正行君） 日程第41、町長提出議案第38号 平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案申し上げました議案第38号 平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について説明させていただきます。

平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算の補正。

第1条歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,180万1,000円を減額いたしまして、歳入歳

出予算の総額を歳入歳出それぞれ5,921万2,000円とするものでございます。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」に記載されているとおりでございます。

次に、2ページでございますが、「第1表 歳入歳出予算補正」でございます。

今回の補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ1,180万1,000円を減額し、総額で5,921万2,000円とするものでございます。

歳入につきましては、款1分担金及び負担金を6,956万円減額し、款4繰入金を5,775万9,000円増額するものでございます。分担金及び負担金につきましては、保留地処分金でございます。今年度換地処分を行うため、すべての保留地の売却を予定しておりましたが、売却できなかったため、繰入金を増額するものでございます。

歳入合計につきましては、補正前の額7,101万3,000円に対しまして、補正額1,180万1,000円を減額いたしまして、5,921万2,000円とするものでございます。

次に、歳出でございますが、事業費につきましては、補正前の額7,091万3,000円に補正額1,180万1,000円を減額し、5,921万2,000円とするものでございます。

事業費の内容ですが、給与費を24万4,000円増額し、換地処分に係る委託業務費を407万5,000円減額し、一般会計繰出金を797万円減額させていただきました。また、予備費の財源補正をさせていただいたところでございます。

なお、事業の進捗状況でございますが、平成25年1月25日に、埼玉県知事による換地処分の公告が行われ、1月26日から区域内の地番が変更となりました。現在、法務局本庄出張所で土地・家屋の登記事務を行っております。来年度からは、清算金の徴収・交付事務を行ってまいります。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

5番、納谷議員。

〔5番 納谷克俊君発言〕

5番（納谷克俊君） 毎度保留地の関係では質問させていただいているんですけども、換地処分も済んで、いよいよ25年度は清算金の形ですかね、それが残る形になると思うんですが、そうなりますと、この保留地は最終的には町で、町が取るという形になるんでしょうか。

また、土地が消費税の増税をにらんで、やっと最近動き始めているようであります。特に建

築の請負契約ですかね、これがたしか秋までに、9月30日だったでしょうか、請負契約を締結すると5%が適用されるということで、この土地の売買が、25年度のかなり早い段階であれば、非常に今流動的になってきているんで、処分するチャンスは今なのかなという気がしているのですが、その辺も含めて、今後この保留地がどのような扱いになっていくのか、お伺いしたいと思います。

議長（高橋正行君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 保留地の関係でございますけれども、現在5画地が売却していないという状況になっておるところでございます。今後の取り扱いといたしましては、平成25年度からは町の普通財産として、売却を進めていくという形になろうかと思っております。

今まで、この保留地の処分について、特別会計の中で、例えば24年6月から法人が購入できるようにしたとか、また広報誌やホームページで周知、PRをした。また、この3月には駅のホーム、電車から見えるように、駅の自由通路の橋の上に宅地分譲中の看板も設置して、PRをしていくと、こういう形でいろいろと努力をしてきたんですけども、結果的には5画地が売却できなかったというのが現状でございます。現在1画地について問い合わせがございまして、そこについて契約ができるかどうかまだわかりませんが、少し調整をしているところでございます。

いずれにしても、25年度から町の財産として、これから進めていかなければならないわけでございますけれども、御質問にありましたように、消費税が上がるということで、その前に購入というようなことと、また少し景気も上向き加減ということで、土地も動くようでございますので、少しは追い風になるのかなという感じはしておりますけれども、24年、25年度、これからも、この5画地の保留地の処分についてもまち整備課と、これから担当をいたします総務課のほうで連携を取りながら、一日も早く処分できるように努力をしていきたいというふうに考えておるところでございます。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第38号 平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第42 町長提出議案第39号 平成24年度上里町公共下水道事業特別会計補正予算
(第2号)について

議長（高橋正行君） 日程第42、町長提出議案第39号 平成24年度上里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案申し上げました議案第39号 平成24年度上里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について御説明をいたします。

第1条歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,374万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億2,355万3,000円とするものでございます。

第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

第2条地方債の追加及び変更は「第2表 地方債補正」によるものでございます。

次に、2ページをお願いいたします。

歳入につきましては、款1分担金及び負担金、項1負担金を172万4,000円を減額、款2使用料及び手数料、項1使用料547万1,000円を減額し、項2手数料12万5,000円を増額、款3国庫支出金、項1国庫補助金130万円を減額、款4繰入金、項1他会計繰入金1,324万4,000円を減額、5繰越金、項1繰越金956万4,000円を増額、款6諸収入、項2雑入39万4,000円を減額、款7町債、項1町債130万円を減額いたしまして、歳入合計1,374万4,000円を減額するものでございます。

次に、歳出でございます。

款1事業費、項1事業費1,374万4,000円を減額するものでございます。

補正の内容につきましては、公共下水道給与費につきましては420万円の減額、公共下水道維持管理事業費につきましては、流域下水道維持管理負担金と下水道排水設備工事費補助金で694万4,000円の減額、公共下水道建設事業費につきましては国庫補助金の減額に伴い、設計業務等委託料と公共下水道管渠築造等工事費として260万円を減額するものでございます。

次に、3ページをお願いいたします。

第2表地方債補正でございます。

公共下水道事業債につきましては、事業費の補正により限度額130万円を減額し、1億330万円とするものでございます。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議いただき、御議決賜りますようお願い申し上げます。

議長（高橋正行君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

5番、納谷議員。

〔5番 納谷克俊君発言〕

5番（納谷克俊君） まず1点教えていただきたいんですけども、流域下水道維持管理負担金が大幅にといいますか673万4,000円の減額になっている理由を教えていただきたいと思えます。

議長（高橋正行君） 下水道課長。

〔下水道課長 間々田義彦君発言〕

下水道課長（間々田義彦君） こちらにつきましては、使用料の減額に伴いまして、維持管理負担金が減額になっています。

議長（高橋正行君） 5番、納谷克俊議員。

〔5番 納谷克俊君発言〕

5番（納谷克俊君） そうなると、使用料のほうが少ない、1割まではいきませんが、かなり当初の見込みより少なくなっている。というのは、恐らくその前の段階で、負担金ですかね、要するに早い話が受益者負担金が約1割、当初より減っているということは、接続促進がなかなかうまく、計画どおりに行っていないということなのかと思っております。その辺がどうなのかということと、当初、1番最初に、下水道供用開始になった区域が、たしか今年度末で工事の補助金のほうが切れてくるのかと思うんです。そうなると、少なくとも今の段階で申請を出していないと工事完了が間に合わないような状況だと思うんですが、その辺含めて、多分駆け込みである程度この接続をしようという人がいるのかと思うんです。

そうなると、多分今の段階では申請が出ているからわかるかと思うんですが、3月の補正段階ではこのような見込みですけれども、現在加入促進についてもどのような状況になっているのかということと、24年度当初の、4月の人事異動で下水道課は大幅に職員さんが入れ替わった部分があると思うんです。その辺で加入促進の、恐らく前の職員さんがやってきたこ

とと、ほとんどの職員さんが入れ替わったことによって、その辺の引き継ぎ等々はうまくできていたのか等も含めて、加入促進についての現状をお伺いしたいと思います。

議長（高橋正行君） 下水道課長。

〔下水道課長 間々田義彦君発言〕

下水道課長（間々田義彦君） それでは説明させていただきます。

最初に、使用料の関係ですけれども、今年は年末年始の関係で、休暇が多かったことにより、工業団地の収入が大幅に減っています。それからあともう1社、海外進出の関係で、使用料の減額が非常に目立って多くなっています。

それから、受益者負担金のございますけれども、こちらについては、平成24年度当初につきましては144件、今回の補正で120件にさせていただいています。

それから、相談会促進につきましては、今年度につきましては10月21日、こちらについては22名ほど参加していただいています。

職員がかわりましたので、私も4月以降につきましては、供用開始したところについては、全お宅を訪問しております。ただその方は、3年間ありますので、それ以前、平成22年度に供用開始したところにつきましては、もう前の課長が何回か行っているようなので、余り行くところとちょっとしつこいものですから、広報、それからホームページ等に載せて加入の促進を行いました。

以上です。

議長（高橋正行君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（高橋正行君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第39号 平成24年度上里町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（高橋正行君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました

暫時休憩いたします。

午前11時25分休憩

午後1時30分再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第43 町長提出議案第40号 平成25年度上里町一般会計予算について

日程第44 町長提出議案第41号 平成25年度上里町国民健康保険特別会計予算について

日程第45 町長提出議案第42号 平成25年度上里町介護保険特別会計予算について

日程第46 町長提出議案第43号 平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計予算について

日程第47 町長提出議案第44号 平成25年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計予算について

日程第48 町長提出議案第45号 平成25年度上里町公共下水道事業特別会計予算について

日程第49 町長提出議案第46号 平成25年度上里町農業集落排水事業特別会計予算について

日程第50 町長提出議案第47号 平成25年度上里町水道事業会計予算について

議長（高橋正行君） 日程第43、町長提出議案第40号 平成25年度上里町一般会計予算についての件、日程第44、町長提出議案第41号 平成25年度上里町国民健康保険特別会計予算についての件、日程第45、町長提出議案第42号 平成25年度上里町介護保険特別会計予算についての件、日程第46、町長提出議案第43号 平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計予算についての件、日程第47、町長提出議案第44号 平成25年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計予算についての件、日程第48、町長提出議案第45号 平成25年度上里町公共下水道事業特別会計予算についての件、日程第49、町長提出議案第46号 平成25年度上里町農業集落排水事業特別会計予算についての件、日程第50、町長提出議案第47号 平成25年度上里町水道事業会計予算についての件、以上の8件を会議規則第37条の規定により一括議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

なお、議案第40号から議案第47号までの説明を求めます。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案申し上げました議案第40号 平成25年度上里町一般会計予算について御説明を申し上げます。

平成25年度上里町一般会計・特別会計予算書の5ページをお開きください。

平成25年度上里町一般会計の予算は、次に定めるところによります。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ81億6,430万円と定め、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」によるものでございます。

第2条については、債務負担行為についてでございます。地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は「第2表 債務負担行為」によるものとし、8件を定めるものでございます。

第3条については、地方債についてでございます。地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 地方債」によるものとして、6事業8億6,910万円を定めるものであります。

第4条については、一時借入金についてですが、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は、5億円と定めるものでございます。

第5条については、歳出予算の流用についてですが、地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の款項の経費の金額を流用することができる場合は、各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係わる予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用とするものと定めております。

それでは、各表ごとに説明をさせていただきます。

第1表歳入歳出予算でございます。6ページから8ページで、歳入予算の款項別の予算について説明をいたします。

平成25年度の歳入でございますが、款1町税につきましては、税制改正や長引く景気低迷等により、前年度より627万3,000円の減額となり、35億4,710万4,000円を計上いたしました。

次に、款2の地方譲与税は、前年度と同額で1億1,100万円を計上いたしました。

款3利子割交付金から款8の自動車取得税交付金までについてですが、利子割交付金については、前年度より150万円減額の530万円を、配当割交付金は前年度より40万円増額の470万円を、株式等譲渡所得割交付金は前年度より5万円減額の100万円を、地方消費税交付金は前年度より1,300万円減額の1億9,200万円を、ゴルフ場利用税交付金は、前年度と同額で700万円を、自動車取得税交付金は前年度より100万円増額の4,600万円を、それぞれ計上いたしました。

款9の地方特例交付金につきましては、住宅借入金等特別控除分のみの交付金となり、前年度より100万円の増額で1,900万円を計上しました。

款10地方交付税につきましては、普通交付税は国が前年度よりも2.2%減額したものの、基準財政需要額と基準財政収入額を推計したところ、前年度より3,200万円の増額で、8億

3,200万円を計上し、特別交付税については前年度と同額で、9,000万円を計上いたしました。

款11交通安全対策特別交付金は、前年度より20万4,000円減額の772万円を計上いたしました。

款12分担金及び負担金は、保育所運営費保護者負担金が主なもので、前年度より122万3,000円増額の1億8,026万9,000円を計上いたしました。

款13使用料及び手数料については、町営住宅使用料や上里ゴルフ場公園施設管理許可使用料など、前年度より139万9,000円増額の1億3,925万5,000円を計上いたしました。

款14国庫支出金については、児童手当交付金4億518万9,000円、障害者総合支援給付費負担金1億3,423万円、道路整備事業として社会資本整備総合交付金の8,107万円など、前年度より1,129万1,000円の減額で、7億7,550万6,000円を計上いたしました。

款15県支出金は、国庫支出金と同様の児童手当負担金が9,069万円、保険基盤安定負担金7,151万5,000円、緊急雇用創出基金事業補助金5,447万8,000円など、前年度より445万7,000円の減額で、5億5,143万1,000円を計上いたしました。

款16財産収入は、土地貸付収入の285万6,000円などで、前年度より57万5,000円増額の383万円を計上いたしました。

款18繰入金については、財政調整基金から5億6,690万円、上里中学校施設整備基金から3,900万円を繰り入れるなど、前年度より4億9,546万1,000円の増額で、6億2,180万3千円を計上いたしました。

款20諸収入は、町税の延滞金900万円や埼玉県市町村振興協会市町村交付金1,610万円などで、前年度と比較をいたしまして291万7,000円の増額で、6,028万1,000円を計上いたしました。

款21町債は、臨時財政対策債の5億4,000万円、国営神流川沿岸土地改良事業債2億1,100万円や道路関係債で、前年度より2億4,310万円の増額で、8億6,910万円を計上いたしました。

款1町税から款21町債までの歳入総額は81億6,430万円で、前年度と比較をいたしまして7億4,230万円の増額であります。

次に、歳出予算の款項別の金額が9ページからとなっております。

款1議会費については、議員年金制度の廃止に伴う議員共済給付費負担金の負担金率改定に伴う減額等により、前年度より74万5,000円の減額で1億60万6,000円を計上いたしました。

次に、款2の総務費については、庁用修繕料の大幅な増額や埼玉県町村情報システム共同化推進協議会負担金等を新たに計上したものの、児玉郡市広域市町村圏組合の負担金や職員給与等の減額などにより、前年度より8,686万3,000円の減額で、11億1,357万4,000円を計上いたしました。

款3民生費については、児童手当が5億8,659万円、こども医療費1億3,218万7,000円、障害者福祉事業の各種給付費やサービス費、国民健康保険などの特別会計繰出金などで、前年度

より1,691万4,000円の増額で、30億7,884万7,000円を計上いたしました。

款4の衛生費については、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種等の各種予防接種委託料が大幅な増額となり、前年度より4,290万4,000円の増額で、5億7,056万円を計上いたしました。

款5の農林水産業費については、上里幹線土地改良区補助金が1,172万8,000円の減額になっているものの、国営神流川沿岸土地改良事業負担金が6億3,918万3,000円の増額となり、前年度より6億4,849万7,000円の増額で、8億3,797万1,000円を計上いたしました。

款6商工費については、本年度新規事業となります桜まつり実行委員会補助金、省エネ対策等補助金、また昨年に引き続き、住宅改修等資金補助金などにより、前年度より72万5,000円の増額で、2,252万2,000円を計上いたしました。

款7の土木費については、平成27年度内の供用開始を目指して、上里スマートインターチェンジ整備事業や上里サービスエリア周辺地区道路整備事業、神保原駅南土地区画整理事業の精算に係る事業費など、前年度より7,556万8,000円の増額で、6億1,878万5,000円を計上いたしました。

次のページの款8消防費については、児玉郡市広域市町村圏組合への消防負担金分が増額して、前年度より468万6,000円の増額で、3億6,056万5,000円を計上いたしました。

款9教育費については、上里中学校の特別教室棟の改築及び解体工事に伴う設計委託料や小学校のパソコン入れ替えなどにより、前年度より2,431万円の増額で、7億6,105万7,000円を計上いたしました。

歳出総額は歳入総額と同額の81億6,430万円であります。

次に、11ページの第2表債務負担行為についてでございます。上里町土地開発公社借入金債務保証については、土地開発公社が業務を行なうために銀行等から借り入れた資金について、最終弁済期が到来しても償還できない額を債務保証するもので、上里サービスエリア周辺地区整備事業の平成25年度借入分でございます。

次に、公共用地先行取得事業については、平成25年度に上里町などの依頼に基づき、土地開発公社が先行取得する用地分に要する費用でございます。

農業近代化資金及び農業経営基盤強化資金については、平成25年度の資金貸し付けによる利子補給で、中小企業融資損失補償は、平成25年度に保証した保証債務の債務負担行為であります。

上里町勤労者総合文化センターや上里町老人福祉センター、神保原駅北自転車駐車場・神保原駅東駐車場の指定管理委託について、指定期間の2年間を債務負担するものでございます。

次に、13ページは第3表地方債についてでございます。

道路新設改良事業は、町道の新設改良事業債で、上里サービスエリア周辺地区道路整備事業や古新田四ッ谷線整備事業を合わせ、道路関係で9,290万円、スマートインターチェンジ整備事業が2,670万円、国営神流川沿岸土地改良事業のガイドライン分で2億1,100万円の起債額を計上いたしました。

次に、臨時財政対策債であります。国の地方財政計画における財源不足に応じて発行されるもので、起債額は交付税の基準財政需要額に全額元利償還金が算入され、5億4,000万円を起債額とし、町債額合計は8億6,910万円でございます。

次に、起債の方法につきましては、利率を4.0%以内とし、ただし書きで、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構の資金について、利率の見直しを行なった後においては、当該見直し後の利率と規定をしております。

償還の方法につきましては、記載のとおりでございます。

次に、予算の内容につきまして説明させていただきます。平成25年度の予算は、先ほど説明申し上げましたように、一般会計の歳入歳出予算の総額を81億6,430万円とし、前年度と比較をいたしまして7億4,230万円の増額で、率で10%の増となっております。

政府は大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」により、長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指すといった基本方針を示しました。一方地方財政への対応について、地方財政計画の規模は、前年度よりわずかながら減額になったものの、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた総額は、前年度を上回る額が確保されています。

本町の平成25年度の当初予算では、国の政権交代により経済政策を転換し、急激な円高是正による燃料の高騰等の不安感が広まる中で、国の基本方針や地方財政計画を踏まえ、平成24年度の補正予算と一体的に、防災対策をはじめ、老朽化した社会インフラ対策や新たな教育の充実などと引き続き、行政改革等に取り組むことといたしました。

歳入においては、初めに町税ですが、たばこ税は県分の振替による増収を見込みましたが、固定資産税では町内所在の工場縮小による償却資産税の減収と、土地・家屋が減収見込みとなりました。

地方交付税は前年度よりも増額を見込みましたが、国や県の支出金は、子どものための手当国庫負担金は大きく減額、県支出金も緊急雇用創出基金事業費などの減額に伴って、減額となりました。

町債については、道路関係債や国営神流川沿岸土地改良事業債、臨時財政対策債により、増額となっております。

次に歳出ですが、総務費では公共施設見直し検討懇談会の提言を受けまして、公共施設のあ

り方を示すため、公共施設アセットマネジメント計画を策定し、今後の公共施設の維持修繕、更新に当たる方向性を示したいと考えております。

民生費では、引き続き高齢者や障害者への社会福祉事業や子育て支援として、児童手当や子ども医療費、地域子育て支援拠点事業委託金など、児童福祉事業に取り組み、衛生費では、発達障害対策としての健康相談を行うとともに、環境衛生事業として住宅用太陽光発電システム設置補助を本年度も継続をいたします。

土木費では、道路補修事業や古新田四ッ谷線道路整備事業など、早期完成を目指した道路整備を行うとともに、平成27年度供用開始に向けて上里スマートインターチェンジ整備事業とそのアクセス道路としての上里サービスエリア周辺地区道路整備事業に取り組んでまいります。

教育関係では、引き続き上里中学校改築事業や施設の維持修繕を計上したほか、教育尊重の町宣言の見直しを行い、町の新たな教育に関するテーマを掲げるとともに、学校においては小・中学生の学力向上のための施策や教員の指導力向上研修やこむぎっちゃん体操、教育シンポジウムの開催、各教室・講座開催などの予算を計上しております。

税収の確保が大変厳しい中で、住民の医療・福祉・子育てなどの経常的経費の増額が見込まれる中で、笹子トンネルの一件から老朽化するインフラへの対応が求められており、町といたしましても、道路や公共施設の維持修繕等への対応が必至となっております。

行財政改革については、平成24年度に引き続き町長・副町長・教育長の給与の削減、議会議員、非常勤特別職の費用弁償の支給停止の継続、職員出張日当の支給停止継続などを実施し、引き続き経費の削減に努めてまいります。

安心して暮らせるまちづくりを図るため、計画的な事務事業の遂行と行財政基盤の充実強化を図り、より一層必要性や効果を主眼においた事業の推進方法を考えていくとともに、検証、改善を行うことにより、質の高い行財政運営を推進していかなければならないと考えております。

以上が、平成25年度の予算に対する編成方針及び予算の内容の説明でございます。慎重審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、御提案申上げました議案第41号 平成25年度上里町国民健康保険特別会計予算について御説明を申し上げます。

一般会計・特別会計予算書の17ページをお開きください。

平成25年度上里町国民健康保険特別会計の予算は次に定めるところによります。

歳入歳出予算についてですが、第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ32億2,523万円と定めるものでございます。

また、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」に

よるものでございます。

一時借入金につきましては、第2条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は5,000万円と定めるものでございます。

歳出予算の流用につきましては、第3条、地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用とするものでございます。

続きまして、国民健康保険特別会計の概要について説明させていただきます。

18ページをお開きください。

第1表歳入歳出予算でございます。

最初に、歳入についてでございます。

款1国民健康保険税につきましては、一般被保険者及び退職被保険者等の医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分の現年課税分と滞納繰越分でございます。前年度より3,199万6,000円増の6億6,909万2,000円を予算計上いたしました。一般被保険者の国民健康保険税は、今回の税率改正に伴い、昨年と比較し2,902万2,000円の増額となっており、退職被保険者数の増加により退職分の保険税が279万4,000円の増額となっております。

続きまして、款2使用料及び手数料であります。国民健康保険の資格証明書の証明手数料及び国民健康保険税の督促手数料として、2,000円の科目設定でございます。

続きまして、款3国庫支出金についてですが、療養給付費等の国庫負担金と普通調整交付金等の国庫補助金でありまして、昨年より9,410万円増の8億996万3,000円の予算計上でございます。

項1国庫負担金のうち、療養給付費負担金については、一般被保険者に係わる療養給付費や療養費、介護納付金、後期高齢者支援金などの支出見込み額の概ね32%相当額6億3,975万5,000円、高額医療費共同事業負担金については、高額医療費共同事業医療費拠出金の4分1相当額で1,681万9,000円、特定健康診査等負担金として、特定健康診査等の費用の3分の1相当額281万3,000円、合計で6億5,938万7,000円を予算計上しております。

また、項2国庫補助金につきましては、普通調整交付金として、一般被保険者に係わる療養給付費などの支出見込み額の概ね7%相当額1億3,994万6,000円、エイズ予防対策やジェネリック医薬品普及活動などに係わる特別調整交付金として1,062万9,000円、出産育児一時金補助金1,000円、合計で1億5,057万6,000円を予算計上しております。

続きまして、款4療養給付費交付金ですが、これは退職被保険者の療養給付費等について、社会保険診療報酬支払基金から交付されるもので、1億9,355万2,000円の予算額となっております。

ます。

続きまして、款5前期高齢者交付金であります。65歳以上75歳未満の前期高齢者の方に係わる療養給付費及び後期高齢者支援金について、国民健康保険や被用者保険などの保険者間の偏在による負担の不均衡を調整するため、前期高齢者の加入者数や医療費に応じて、社会保険診療報酬支払基金から交付されるものがございます。昨年より1,700万円増の5億円を予算計上いたしました。

続きまして、款6県支出金であります。高額医療費共同事業及び特定健康診査等の県負担金と、財政調整交付金等の県補助金であります。昨年より1,517万5,000円増の1億8,572万1,000円を予算計上しております。

項1県負担金の主な内訳を説明いたしますと、高額医療費共同事業負担金につきましては、国庫負担金と同様に、高額医療費共同事業拠出金の4分の1相当額1,681万9,000円、特定健康診査等の費用の3分の1相当額281万3,000円でございます。

また、項2県補助金の普通調整交付金につきましては、一般被保険者に係わる療養給付費などの支出見込み額の概ね8%相当額1億5,993万8,000円、特別調整交付金として、医療費適正化のためのレセプト点検員賃金や医療費通知等の経費、人間ドック補助などに対する交付金で615万1,000円あります。

続きまして、款7共同事業交付金についてですが、市町村からの拠出金を財源に、都道府県及び全国単位で費用負担の調整を行い、交付をされるもので、高額医療費共同事業交付金につきましては、1件当たり80万円を超える高額医療費に対し、また保険財政共同安定化事業交付金につきましては、平成24年度より1件当たり10万円を超える高額医療費に対し、費用負担の調整を行い交付されることとなっております。高額医療費共同事業交付金は6,089万5,000円、保険財政共同安定化事業交付金は3億3,252万7,000円、合計で昨年より2,415万4,000円増額の3億9,342万2,000円を予算計上しております。

続きまして、款9繰入金につきましては、一般会計からの保険基盤安定分や職員給与費等に対する繰入金と国保基金からの繰入金で、4億4,121万8,000円となっております。

続きまして、款10繰越金につきましては、前年度同額の2,500万1,000円を予算計上しております。

続きまして、款11諸収入ですが、国民健康保険税の延滞金や過料として500万2,000円、特定健康診査の一部負担金として、1人当たり1,000円をいただいているところですが、受診者1,925人分の192万5,000円と70歳から74歳までの前期高齢者の方の医療費の一部負担金について、平成25年4月以降も1割負担に凍結となったことから、その1割相当額の療養費の公費負担分32万4,000円などで、諸収入合計で725万8,000円の予算計上でございます。

歳入合計につきましては、昨年より2億5,794万2,000円増の32億2,523万円となっております。

続きまして、20ページの歳出について御説明いたします。

款1 総務費につきましては、項1 総務管理費として職員7名分の給与費などで5,166万円、レセプト点検員賃金・電算事務委託などの事務経費として1,148万4,000円、合計で6,366万9,000円であります。

また、項2 徴税費につきましては、国民健康保険税の賦課徴収に係る事務経費として767万1,000円であります。

項3 運営協議会費につきましては、国民健康保険運営協議会の委員報酬などの事務経費39万円、項4 趣旨普及費につきましては、エイズ予防対策やインフルエンザ予防対策などのパンフレット代等で37万6,000円あります。

総務費合計で7,210万6,000円の予算計上でございます。

続きまして、款2 保険給付費の項1 療養諸費であります。一般被保険者及び退職被保険者等の療養給付費及び療養費、審査支払手数料でありまして、合計で前年度より2億230万1,000円増の18億6,582万4,000円の予算計上でございます。

項2 高額療養費につきましても、一般被保険者・退職被保険者等を含め、前年度より2,924万1,000円増の2億3,286万円の予算計上でございます。

項3 移送費につきましては、病気や怪我などのため、移動が困難な患者が、医師の指示により、一時的・緊急的な必要性があって入院や転院をした場合、国保が審査を行って、必要だと認めた場合に支給するもので、昨年同様9万円の予算計上となっております。

項4 出産育児諸費の出産育児一時金につきましては50人分、2,100万円を見込んでおり、2,101万1,000円の予算計上でございます。

項5 葬祭諸費45人分を見込んでおり、225万円の予算計上でございます。

続きまして、款3 後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者の方の医療費の4割相当額を各医療保険者が被保険者数に応じて負担するものですが、年々増え続ける医療費のため、事務費を含め、前年度より1,139万5,000円増の4億1,573万9,000円の予算計上でございます。

続きまして、款4 前期高齢者納付金等につきましては、65歳以上75歳未満の前期高齢者の方の医療費の各医療保険者間の偏在を調整するために納付するもので、事務費を含め70万2,000円でございます。

続きまして、款5 老人保健拠出金につきましては、老人医療費の過誤等精算額でありまして、2万6,000円の予算計上でございます。

続きまして、款6介護納付金につきましては、介護第2号被保険者数に応じ納付するもので、平成23年度の精算分を含め、1億8,612万2,000円の予算計上となっております。

続きまして、款7共同事業拠出金につきましては、高額な医療について都道府県単位で財源をプールし、保険者の運営基盤の安定化を図るための拠出金でありまして、高額医療費共同事業医療費拠出金6,727万9,000円、保険財政共同安定化事業拠出金3億2,461万9,000円、合計で前年度より544万5,000円増の3億9,190万2,000円を計上しております。

続きまして、款8保健事業費であります。特定健康診査等事業費や保健事業費でありまして、3,084万円の予算計上でございます。

項1特定健康診査等事業費につきましては、特定健康診査の受診率35%、1,925人分を見込み、2,156万2,000円を予算計上しており、項2保健事業費として、健康づくりのための講師謝礼や人間ドック等の予防検診補助金として927万8,000円の予算計上であります。

款9基金積立金につきましては、国民健康保険給付費支払基金への積立金でありまして、前年度と同額の10万1,000円の予算計上であります。

款10諸支出金、項1償還金及び還付加算金につきましては、保険税の還付金や還付加算金でありまして、合計で昨年より100万円減の265万6,000円であります。

歳出合計につきましては、歳入同様、昨年より2億5,794万2,000円増の32億2,523万円となっております。

以上で平成25年度上里町国民健康保険特別会計予算の提案説明とさせていただきます。

慎重審議いただき、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、御提案申し上げました議案第42号 平成25年度上里町介護保険特別会計予算について御説明を申し上げます。

予算書の25ページをお開きください。

平成25年度上里町介護保険特別会計予算は、次に定めるところによるものでございます。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ15億1,811万3,000円と定め、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」によるものでございます。

第2条については、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は、5,000万円と定めるものでございます。

第3条については、地方自治法第220条第2項ただし書きの規定より歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用とするものでございます。

続きまして、介護保険特別会計の概要について説明させていただきます。

26ページの第1表歳入歳出予算でございます。

最初に歳入ですが、款1介護保険料、項1介護保険料につきましては3億2,740万4,000円、前年度対比2,458万7,000円、8.1%の増額で計上してございます。内訳といたしましては、現年度賦課分が3億2,656万7,000円であり、これに滞納繰越分83万7,000円を加えた額となっております。

次に、款2国庫支出金で、総額3億1,204万7,000円、前年度対比545万1,000円、1.7%の減額であります。

項1国庫負担金につきましては、保険給付費に負担率、施設等の給付費が15%、居宅給付費が20%でございます。負担率を乗じた額2億4,968万1,000円、前年度対比1,072万6,000円、4.5%の増額であります。

項2国庫補助金につきましては6,236万6,000円、前年度対比1,617万7,000円、20.6%の減額となります。内訳は、調整交付金5,212万3,000円、地域包括支援センターが行う介護予防事業に対する地域支援事業交付金228万9,000円、包括的支援事業及び任意事業に対する地域支援事業795万4,000円でございます。

次に、款3支払基金交付金、項1支払基金交付金は4億1,118万7,000円、前年度対比2,199万3,000円、5.7%の増額となります。この交付金は社会保険診療報酬支払基金より保険給付費に負担率29%を乗じた額が第2号被保険者分として交付されるもので、介護給付費交付金4億853万3,000円、地域支援事業支援交付金265万4,000円でございます。

款4県支出金の総額につきましては2億1,328万1,000円、前年度対比125万3,000円、0.6%の増額でございます。

項1県負担金につきましては、保険給付費に負担率、施設等給付費が17.5%、居宅給付費12.5%、その負担率を乗じた額2億815万7,000円、前年度対比1,194万3,000円、6.1%の増額となります。

項2県補助金につきましては、地域包括支援センターで行う介護予防事業に対する地域支援事業交付金で114万7,000円、前年度対比76万6,000円、201%の増額となります。さらに包括的支援事業及び任意事業に対する地域支援事業交付金は397万7,000円、前年度対比144万1,000円、26.6%の減額でございます。

次に、款5繰入金、項1一般会計繰入金であります。2億5,367万円、前年度対比854万4,000円、3.5%の増額でございます。内訳といたしましては、介護給付費繰入金は保険給付費の町負担の12.5%分として、1億7,609万1,000円、前年度対比871万8,000円、5.2%の増額で、介護予防事業の地域支援事業繰入金として114万7,000円、前年度対比76万6,000円、201%の増額となります。包括的支援事業及び任意事業の地域支援事業繰入金として397万7,000円、前年

度対比144万1,000円、26.6%の減額でございます。

その他一般会計繰入金では、一般会計からの事務費分として7,245万4,000円、前年度対比50万6,000円、0.7%の増額でございます。

次に、款6、項1繰越金であります、前年同様額50万円を計上させていただいております。

款7諸収入、項1延滞金、加算金及び過料についても、前年同様額1,000円を計上させていただき、項2雑入は第三者納付金等で2万3,000円、前年度対比5万9,000円、72%の減額計上をさせていただきました。

歳入総額15億1,811万3,000円、前年度対比5,086万7,000円、3.5%の増額でございます。

続きまして、27ページの歳出でございます。

まず、款1総務費につきましては、総額5,796万3,000円、前年度対比453万5,000円、7.3%の減額となります。

主なものといたしまして、項1総務管理費3,405万1,000円、前年度対比430万7,000円、11.2%の減額、項2徴収費205万6,000円、前年度対比6,000円、0.3%の減額、項3介護認定審査調査費2,170万1,000円、前年度対比17万7,000円、0.8%の増額であります。

項4趣旨普及費15万5,000円、前年度対比39万9,000円、72%の減額でございます。

次に、款2保険給付費であります、総額14億873万5,000円、前年度対比6,970万8,000円、5.2%の増額であります。内訳といたしまして、項1介護サービス等諸費は12億4,004万8,000円、前年度対比5,368万2,000円、4.5%の増額でございます。

項2介護予防サービス等諸費は7,950万2,000円、前年度対比772万1,000円、10.8%の増額でございます。

また、項3高額サービス費につきましては2,608万3,000円で、前年度対比234万6,000円、9.9%の増額でございます。

項4高額医療合算介護サービス等費につきましては510万、前年度対比22万5,000円、4.6%の増額となりました。

項5審査支払手数料は173万3,000円で、前年度対比10万7,000円、6.6%の増額でございます。

次に、項6特定入所者介護サービス等費につきましては5,626万9,000円で、前年度対比562万7,000円、11.1%の増額でございます。

また、款3基金積立金では710万2,000円、介護保険料の不足分を補うためのものがございます。

款4地域支援事業費としては4,333万円、前年度対比339万3,000円で、8.5%の増額でございます。内訳といたしましては項1介護予防事業費については915万9,000円で、前年度対比128万5,000円、12.3%の減額でございます。

項2 包括的支援事業・任意事業費については3,417万1,000円、前年度対比467万8,000円で、15.9%の増額でございます。

款5 諸支出金、項1 償還金及び還付加算金につきましては、内訳として第1号被保険者保険料還付金48万円、償還金1,000円、第1号被保険者還付加算金1,000円を計上し、項2 繰出金、一般会計繰出金については、1,000円を計上させていただきました。

款6 予備費、項1 予備費については、50万円を計上させていただきました。

歳出総額については、歳入と同様に15億1,811万3,000円、前年度対比5,086万7,000円、3.5%の増額でございます。

以上が、介護保険特別会計予算の提案説明でございます。慎重審議いただき、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、御提案申し上げました議案第43号 平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計予算について御説明申し上げます。

予算書の31ページをお開きください。

平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計の予算は、次に定めるところによります。

歳入歳出予算についてですが、第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億316万円と定めるものでございます。

また、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」によるものでございます。

続きまして、後期高齢者医療特別会計の概要について説明をさせていただきます。

32ページをお開きください。

第1表歳入歳出予算であります。

最初に、歳入についてでございます。

款1 後期高齢者医療保険料につきましては、埼玉県後期高齢者医療広域連合において、均等割額1人当たり4万1,860円、所得割8.25%、賦課限度額55万円、被保険者数2,944人で見込んだ保険料を予算計上させていただきました。現年度分と滞納繰越分を含め、昨年より264万6,000円減の1億3,915万1,000円でございます。1人当たりの平均保険料は4万7,369円でございます。

続きまして、款2 使用料及び手数料についてでございます。保険料の納付証明手数料として1,000円を予算計上いたしました。

続きまして、款3 繰入金につきましては、一般会計からの繰入金でありまして、埼玉県後期高齢者医療広域連合への事務費分の負担金や被保険者証の郵送料や電算委託料などの事務費分として1,267万5,000円、保険料の軽減分としての保険基盤安定繰入金4,602万1,000円などで、

合計で5,869万6,000円を一般会計より繰り入れていただきます。昨年より106万円の減となっております。

続きまして、款4繰越金につきましては、平成24年度の繰越金として、50万円を予算計上いたします。

続きまして、款5諸収入であります。埼玉県後期高齢者医療広域連合からの健康診査の受託事業収入として500人分、345万9,000円、後期高齢者の方の人間ドックに対する補助金として18人分、45万円、また健康診査の本人負担金として50万円などを予算計上しております。

歳入合計につきましては、昨年より348万8,000円減の2億316万円となっております。

続きまして、歳出について説明いたします。

款1総務費につきましては、項1総務管理費として、後期高齢者の方の被保険者証の交付や健康診査のための委託料、人間ドック補助金等の経費、あるいは後期高齢者医療システムの保守委託などの事務経費でありまして752万2,000円、また項2徴収費として、後期高齢者医療保険料の賦課徴収に係わる事務経費128万3,000円、総務費合計で880万5,000円の予算計上であります。

続きまして、款2後期高齢者医療広域連合納付金であります。埼玉県後期高齢者医療広域連合への事務費などの共通経費負担金として827万円、保険料分の納付金1億3,915万3,000円、保険基盤安定分4,602万円などで、合計で1億9,344万3,000円でございます。

続きまして、款3諸支出金につきましては、保険料の還付金及び還付加算金、一般会計への繰出金でありまして、41万2,000円を予算計上しております。

歳出合計につきましては歳入同様、348万8,000円減の2億316万円となっております。

以上で平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計予算の提案説明とさせていただきます。慎重審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

議長（高橋正行君） 暫時休憩いたします。

午後2時36分休憩

午後2時54分再開

議長（高橋正行君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（高橋正行君） 提案理由の説明及び議案の説明を続行します。

副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 御提案を申し上げました議案第44号 平成25年度上里町神保原駅南

土地区画整理事業特別会計予算について御説明を申し上げます。

予算書の35ページをお開きください。

平成25年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計の予算は、次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算。

第1条歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ6,799万1,000円と定め、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 歳入歳出予算」によるものでございます。

36ページをお開きいただきたいと思えます。

第1表の歳入歳出予算でございます。

歳入関係でございますが、款1分担金及び負担金でございます。負担金につきましては244万8,000円であります。売却した保留地の確定測量に伴う土地代金の清算によるものでございます。

次に、款2繰入金でございます。一般会計からの繰入金で2,754万1,000円であります。

次に、款3繰越金ですが1,000円の科目設定をさせていただいております。

款4諸収入でございますが、雑入として3,800万1,000円を計上させていただきました。清算徴収金を3,800万円計上し、清算徴収金延滞金につきましては1,000円の科目設定をさせていただきました。

歳入合計につきましては6,799万1,000円でございます。

次に、歳出でございます。

歳出につきましては、款1事業費でございますが、6,789万1,000円でございます。

款1事業費の内容につきましては、委託料として清算金徴収業務処理委託料及び竣工記念碑作成業務委託料として117万円を計上し、工事請負費として竣工記念碑設置工事280万円を計上させていただきました。

また、補償補填及び賠償金として、地権者に対して交付する清算金5,423万3,000円を計上させていただきました。この区画整理事業は事業開始以来約29年を経過し、平成24年度において換地処分を行うことができました。今後は清算事務を行いますが、清算金の納付期間が最長5年間であるため、平成30年3月31日までの事業期間となっております。

次に、予備費につきましては10万円の計上でございます。歳入同様、歳出合計は6,799万1,000円でありまして、前年対比いたしますと2.3%の減額でございます。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、御提案申し上げました議案第45号 平成25年度上里町公共下水道事業特別会計

予算について御説明申し上げます。

予算書の39ページをお開きください。

平成25年度上里町公共下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによるものであります。

歳入歳出予算であります。第1条歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億9,990万6,000円と定め、同条第2項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表歳入歳出予算」によるものであります。

次に、債務負担行為であります。第2条地方自治法第214条の規定により、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は「第2表 債務負担行為」によるものでございます。

次に、地方債であります。第3条地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は「第3表 地方債」によるものでございます。

40ページをお開きください。

第1表、歳入歳出予算は、歳入7款、歳出3款の構成となっております。

歳入からご説明を申し上げます。

款1分担金及び負担金、項1負担金は公共下水道接続に伴う受益者負担金で1,685万1,000円であります。

次に、款2使用料及び手数料6,935万8,000円であります。その内訳といたしましては、項1使用料であります。公共下水道利用者へ賦課徴収する使用料金の現年度分及び過年度分を含めまして6,935万2,000円であり、項2手数料は町下水道条例第29条の規定に基づく排水設備工事責任技術者証交付手数料等の6,000円であります。

次に、款3国庫支出金、項1国庫補助金7,790万円は、公共下水道事業費補助金であります。

次に、款4繰入金、項1他会計繰入金1億1,013万8,000円は、一般会計より繰り入れるものでございます。

次に、款5繰越金、項1繰越金10万円は、前年度と同額を計上したものでございます。

次に、款6諸収入45万9,000円あります。その内訳といたしまして、項1預金利子1,000円は歳計現金預金利子であり、項2雑入45万8,000円は、平成24年度公共下水道事業に係る消費税及び地方消費税の還付金であります。

次に、款7町債、項1町債1億2,510万円は、公共下水道事業債であります。

歳入合計3億9,990万6,000円あります。

次に、歳出であります。款1事業費、項1事業費2億8,848万3,000円は、公共下水道給与

費及び公共下水道維持管理事業並びに公共下水道建設事業費の総額であります。

次に、款 2 公債費、項 1 公債費 1 億 1,132 万 3,000 円は、平成 8 年度から前年度までに借り入れいたしました元利償還金であります。

次に、款 3 予備費、項 1 予備費 10 万円ではありますが、前年度と同額を計上いたしました。

歳出合計は歳入合計と同じく 3 億 9,990 万 6,000 円であります。

41 ページをお開きください。

第 2 表債務負担行為であります。

この内容であります。まず初めに、下水道改造資金融資あっせんに対する損失補償(平成 25 年度分)であります。町下水道改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則第 19 条の規定に基づく損失補償でございます。

42 ページをお開きください。

第 3 表地方債でございます。

この内容であります。管渠築造工事等の公共下水道事業に伴う起債の限度額を 1 億 2,510 万円とするとともに、起債の方法、利率、償還の方法を定めたものでございます。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、御提案申し上げました議案第 46 号 平成 25 年度上里町農業集落排水事業特別会計予算について、御説明申し上げます。

予算書の 45 ページをお開きください。

平成 25 年度上里町農業集落排水事業特別会計の予算は、次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算であります。第 1 条、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ 1,205 万 5,000 円と定め、同条第 2 項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第 1 表 歳入歳出予算」によるものでございます。

46 ページをお開きください。

「第 1 表 歳入歳出予算」は、歳入 5 款、歳出 2 款の構成となっております。

歳入から説明をいたしますと、款 1 分担金及び負担金、項 1 分担金 25 万円は、農業集落排水の接続に伴う受益者分担金で 1 戸の加入を見込んだものでございます。

次に、款 2 使用料及び手数料、項 1 使用料ではありますが、農業集落排水利用者へ賦課徴収する使用料金の現年度分及び過年度分を含めまして 252 万 9,000 円あります。

次に、款 3 繰入金、項 1 他会計繰入金 917 万 5,000 円につきましては、一般会計より繰り入れしていただく総額でございます。

次に、款4繰越金、項1繰越金10万円並びに款5諸収入、項1預金利子1,000円につきましては、前年度と同額を計上いたしました。

歳入合計は1,205万5,000円であります。

次に、歳出でございますが、款1事業費、項1事業費668万4,000円につきましては、農業集落排水維持管理事業の総額であります。

次に、款2公債費、項1公債費537万1,000円は、平成11年度から平成15年度までに借り入れいたしました元利償還金でございます。

歳出合計は、歳入合計と同じく1,205万5,000円であります。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、議案第47号 平成25年度上里町水道事業会計予算について御説明を申し上げます。

予算書の49ページをお開きください。

総則、第1条であります。平成25年度上里町水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量、第2条であります。業務の予定量は次のとおりとする。

- 1、給水戸数は1万2,064戸、昨年度より245戸の増となっております。
- 2、年間給水量は409万立方メートルであります。昨年度より4万立方メートルの減となっております。
- 3、1日平均給水量は1万1,205立方メートルであります。昨年度より110万立方メートルの減となっております。

4、主な建設改良事業は機械電気更新事業で1億6,160万円であります。そのほか石綿セメント管更新事業等も行っております。

次に、収益的収入及び支出でございます。第3条収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入ですが、第1款の事業収益は5億8,241万2,000円であります。前年度対比708万6,000円の減額でございます。内訳ですが、第1項の営業収益5億6,215万8,000円で、前年度対比520万円の減額です。主な要因は、加入金は増額したものの、給水収益その他の営業収益が減額になったことにより、減額となったものです。

第2項の営業外収益2,025万3,000円で、前年度対比188万6,000円の減額で、主な原因は一般会計補助金の減額でございます。

第3項の特別利益は1,000円で、科目設定でございます。

次に、支出ですが、第1款の事業費は5億4,825万6,000円であります。前年度対比1,682万4,000円の増額です。内訳ですが、第1項の営業費用4億5,523万9,000円で、前年度対比1,953万9,000円の増額で、前年度工事の減価償却費の増が主な原因でございます。

第2項の営業外費用8,701万7,000円で、前年度対比271万5,000円の減額で、企業債利息の減によるものでございます。

第3項の特別損失400万円、第4項の予備費200万円は前年度と同額となっております。

次の、50ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出であります。

第4条資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億6,537万6,000円は、当年度分消費税資本的収支調整額874万6,000円及び過年度分損益勘定留保資金2億5,663万円で補填するものでございます。

収入ですが、第1款の資本的収入は1億6,160万2,000円です。前年度対比4,670万円の減額です。内訳ですが、第1項の企業債1億6,160万円で、前年度対比4,670万円の減額で、機械・電気等の更新事業に伴う企業債の減額によるものでございます。

第2項の国庫補助金1,000円、第3項の負担金1,000円で、科目設定でございます。

次に、支出ですが、資本的支出4億2,697万8,000円で、前年度対比4,509万円の減額です。内訳ですが、第1項の建設改良費1億9,228万8,000円で、前年度対比8,361万2,000円の減額です。主な原因は機械・電気等の更新事業費の減に伴うものでございます。

第2項の企業債償還金は2億3,469万円で、前年度対比3,852万2,000円の増額です。主な要因は前年度起債した企業債の償還によるものでございます。

次に、企業債でございます。第5条起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は次のとおりと定めるものでございます。起債の目的、機械電気等更新事業、限度額1億6,160万円、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

次に、一時借入金でございますが、第6条一時借入金の限度額は3,000万円と定めるということでございます。

次に、議会の議決を経なければ流用することができない経費につきましては、第7条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならないということございまして、職員給与費、交際費でございます。職員給与費は5,833万7,000円で、前年度対比1,003万8,000円の減額です。交際費は2万円で前年度と同額でございます。

次に、補助金でございますが、第8条一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のと

おりと定めるものでございます。

企業債利息支払金補助1,981万8,000円で、前年度対比189万3,000円の減でございます。

最後に、第9条たな卸資産の購入限度額は652万7,000円とするところでございます。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。慎重御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

議長（高橋正行君） 次に、担当課長より詳細説明を求めます。

総合政策課長。

〔以下、上程中の議案について 総合政策課長 石原秀一君補足説明〕

議長（高橋正行君） 以上をもちまして、平成25年度上里町一般会計予算、平成25年度上里町国民健康保険特別会計予算、平成25年度上里町介護保険特別会計予算、平成25年度上里町後期高齢者医療特別会計予算、平成25年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計予算、平成25年度上里町公共下水道事業特別会計予算、平成25年度上里町農業集落排水事業特別会計予算、平成25年度上里町水道事業会計予算についての提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

散 会

議長（高橋正行君） 本日はこれをもって散会いたします。

御苦労さまでした。

午後4時3分散会